

関係人口調査事業業務委託に係る公募型プロポーザル 質問と回答

	質問内容	回答
1	令和4年12月に実施された「富山県関係人口調査」について、公表されている最終報告書に加え、実際に使用された調査票の全体像や、集計後の個票データ（個人情報をマスキングしたもの）を参考に閲覧させていただくことは可能でしょうか。同様の手法による推計を行う上で、詳細なデータ構造を把握したく存じます。	令和4年12月に実施された「富山県関係人口調査」については、公表されている最終報告書以外の情報（実際に使用した調査票の全体像、集計後の個票データ（個人情報をマスキングしたもの）等）を閲覧することはできません。
2	モニターの品質について、「株式会社インテージのインターネット調査モニター『マイティモニター®』と同等以上」との規定がございますが、品質を判断する上で特に重視される具体的な指標（例：不正回答の検知・排除ロジック、モニターの登録情報更新頻度など）がございましたらご教示ください。	本調査に対し誠実な回答をいただけるモニターであること、基本属性が正しく登録されているモニターであることを重視します。
3	有効回答の属性について、年齢・性別の均等な回収に努めることとされておりますが、今後の施策検討において、特に分析の軸として関心をお持ちの属性（例：特定の職業、年収層、居住地の都市規模など）はございますでしょうか。	性別、年齢、居住都道府県のほか、富山県の関係人口の創出・深化に向けた施策検討に資すると考えられる属性分析がありましたら、追加で提案してください。追加提案についても審査の対象となります。
4	仕様書記載の設問項目に加え、独自提案として設問項目を追加する場合、回答者の負担時間を考慮した上で、全体の設問数は最大で何問程度を想定されておりますでしょうか。	設問数の上限は想定していません。 回答者の負担にならない範囲で、確かな分析結果を得るために必要な設問数を検討してください。
5	成果物として「調査結果報告書」を電子データで提出とのことですが、報告書の他に、集計前のローデータ（個人情報をマスキングしたもの）の提出は必要となりますでしょうか。必要な場合、希望されるファイル形式（例：Excel、CSV など）も併せてご教示いただけますと幸いです。	集計前のローデータ（個人情報をマスキングしたもの）についても提出してください。希望のファイル形式はExcelです。
6	スケジュール案によると、契約後の11月上旬から「調査項目等の調整」を行うとありますが、県ご担当者様との協議の頻度（例：週1回の定例会議など）や、内容の確認・承認に要する期間（リードタイム）は、どの程度を想定されておりますでしょうか。	調査の内容によりますが、調査項目及び分析方法の協議については、週1回程度を想定しています。（定例打合せ、またはメールのやり取り） また、内容の確認・承認には、内容により1週間程度要する可能性があります。軽微な確認については2～3日以内の対応を想定しています。

7	仕様書4（1）⑤ 具体的な設問については提案事項でしょうか。もし貴県で素案を作成される場合は、事前に素案をお見せいただけますか。 設問は最大何問程度を想定されていますか。	仕様書4（1）⑤に記載のとおり、具体的な設問の素案としては、少なくとも以下の9問を想定しています。 ア 令和7年中に富山県内において、地域の課題解決・活性化の取組みに関わったことがあるか（主な例：ボランティア、地域プロジェクト） イ 令和7年中に富山県内において、二拠点労働を行ったことがあるか（主な例：兼業、副業、テレワーク、ワーケーション） ウ 令和7年中に富山県内で実施されたイベント等に参加したことがあるか エ 令和7年中に富山県内において、県産品であることを意識して購入したことがあるか オ 令和7年中に富山県内の自治体を支援したことがあるか（主な例：ふるさと納税、寄付、ファン倶楽部、情報発信（インフルエンサー）など） カ 令和7年中に富山県外で実施されたイベント等に参加したことがあるか（主な例：大阪・関西万博富山県催事、観光物産展、セミナーなど） キ 令和7年中に富山県外において、県産品であることを意識して購入したことがあるか ク 令和7年中に富山県の自治体のSNS等から情報を取得したことがあるか ケ 富山県出身者または富山県人会の会員に該当するか。あるいは、これまで富山県内に居住した経験があるか また、上記のほか、富山県の関係人口の創出・深化に向けた施策検討に資すると考えられる設問がありましたら、追加で提案してください。 なお、設問数の上限は想定していません。回答者の負担にならない範囲で、確かな分析結果を得るために必要な設問数を検討してください。
8	仕様書4（2） 前回報告書や報告書に掲載している図表データについて、受託後、加工可能な形式でご提供いただくことは可能でしょうか。	前回報告書（掲載されている図表データ含め）については、Word形式のものであれば提供可能です。

9	前回調査では関係人口の定義・分類を以下のように整理されていましたが、こちらから変更になる箇所はありますでしょうか。 <定義> ①県外に在住し、②「本県と関わる(行動する)」者のうち、③「強い関係性」をもつ者。 (1)～(3)のいずれにも当てはまること (1)県外在住者 (2)本県と何らかの関わり(地域貢献、消費、情報収集・発信)を有している(行動している)者 (3)他の都道府県でも同様の選択肢がある中で「あえて富山県」を選択する者で「直近1年間に1回以上の関係を有する者」及び本県と地縁・血縁を有する者 <分類> ・地域の課題解決・活性化の取組みに関わる者 ・二拠点労働者 ・県内イベント等参加者 ・県産品購入者(訪問) ・支援者 ・県外イベント参加者 ・県産品購入者(非訪問) ・SNS等での情報取得 ・縁故者・県出身者・県内の大学出身者	関係人口の定義・分類について、前回調査から変更になる箇所はありません。
10	前回調査(二次調査含む)を踏まえての課題点・変更点もしくは前回調査から変更を希望しない点があればお聞かせください。(仕様書記載以外にあれば)	前回調査で得られた知見や分析結果は、県内の現状把握や課題整理に寄与した一方、さらに実効性の高い施策立案へとつなげていく観点から、今回の調査においては、富山県の関係人口の創出・深化に向けた施策を検討する際に参考となる情報を得るための調査等、独自の追加提案があれば提案してください。

11	前回調査（二次調査含む）を踏まえ取り組まれた施策や事業などがあればお教えてください。	前回調査で得られた知見や分析結果は、個別の施策や事業を立ち上げるというよりも、既存の各種施策に関係人口の視点を取り入れる形で活用しました。具体的な視点は、下記のとおりです。 （１）これまで関係を持ったことがあるが、１年以上かかわりを持っていない方々に、毎年関わっていただけるよう取り組む。 （２）施策によって増加が見込める分類のうち、特に、関係人口が少ない分類について、デジタルを活用した取組みを今後進める。 （３）交流人口として整理した「２回以上の来県者（約 1,000 万人）」について、関係人口としての関わりをつくる施策を展開する。
----	---	---